

令和2年度 地方創生推進交付金・地方創生拠点整備交付金 活用事業について

1. 交付金の概要

【交付金の名称】

- ・地方創生推進交付金
- ・地方創生拠点整備交付金(施設整備等に係る事業)

【事業概要】

地方版総合戦略に基づく、地方公共団体の自主的・主体的で先導的な事業を支援するもの

【対象事業】

地方創生の深化の裾野を広げる取組

<具体例>

しごと創生(中小企業等の生産性向上、空き店舗対策、観光振興等)、地方への人の流れ(生涯活躍のまち、移住促進等)、働き方改革(若者雇用対策、ワークライフバランスの実現等)、まちづくり(小さな拠点等)

【資金流れ】

国 ———— 交付金(1/2) ————> 地方公共団体

【事業実施数及び交付実績額】

採択事業 : 8事業

交付決定額 : 193,108,000円

(推進交付金 178,108,000円、拠点整備交付金 15,000,000円)

2. 実績の評価

- ・PDCA サイクルにより、事業を推進するため、毎年度、外部組織による効果検証を実施することとなっている。

地方創生推進交付金及び地方創生拠点整備交付金事業報告書
(令和2年度実施分)

交付対象事業の名称(地方創生推進交付金事業)	担当課	頁
1 明治150年を契機とした観光目的地及び産業創出事業	-	1
・我がまちスポーツ推進事業(「サイクル県やまぐち」推進事業)	スポーツ交流課	
2 人が集い賑わいのある商店街づくり支援事業	-	2
・にぎわいのまち支援事業	ふるさと産業振興課	
・人が集い賑わいのある商店街づくり支援事業	ふるさと産業振興課	
3 人材確保力向上・人材育成重点プロジェクト	-	6
・人材確保企業重点支援事業	ふるさと産業振興課	
・経営戦略デザイン事業	ふるさと産業振興課	
・特定求職者雇用促進事業	ふるさと産業振興課	
・働き方改革推進事業	ふるさと産業振興課	
4 山口県央連携都市圏域「山口ゆめ回廊」で育む観光圏域づくり	-	9
・山口ゆめ回廊博覧会準備事業	観光交流課	
・山口ゆめ回廊博覧会観光推進事業	観光交流課	
・湯田温泉魅力創造事業	観光交流課	
・インバウンド観光誘客推進事業	観光交流課	
・観光地ビジネス推進事業	観光交流課	
・都市間ツーリズム促進事業	観光交流課	
・観光維新ブランド創出事業	観光交流課	
・ふるさと産品営業推進事業	ふるさと産業振興課	
5 道の駅「長門峡」を交流の核とした阿東地域ふるさとにぎわいプロジェクト	-	14
・道の駅長門峡管理運営業務	阿東総合支所 農林課	
・中山間地域資源利活用事業	定住促進課	
・中山間地域野菜増産モデル事業	阿東総合支所 農林課	
・常德寺庭園保存整備事業	文化財保護課	
・観光維新ブランド創出事業	観光交流課	
・観光施設管理業務	阿東総合支所 地域振興課	
6 未来に羽ばたく若者定住促進プロジェクト	-	16
・就職支援事業	ふるさと産業振興課	
・経営戦略デザイン事業	ふるさと産業振興課	
・雇用対策事業	ふるさと産業振興課	
・事業承継支援事業	ふるさと産業振興課	
・人材確保企業重点支援事業	ふるさと産業振興課	
・小郡がつながる・つなげる交流促進事業	小郡総合支所 地域振興課	
・UJIターン就労支援事業	定住促進課	
・子ども芸術体感事業	学校教育課	
・シティセールス推進事業	企画経営課	
・放送・新聞等広報事業	広報広聴課	
7 域外から稼ぐ力を生み出す「新たな産業・交流拠点」づくり推進事業	-	20
・新山口駅北地区拠点施設整備事業	新山口駅拠点施設 整備推進室	
・新たなモビリティサービス調査・実証事業	交通政策課	
交付対象事業の名称(地方創生拠点整備交付金事業)	担当課	頁
1 徳地地域活性化プロジェクト「高齢者若者活性化センター」整備計画	-	24
・高齢者若者活性化センター管理運営業務	徳地総合支所地域振興課	

■評価対象事業一覧

交付金の名称	交付対象事業の名称	事業の概要(令和2年度)	総事業費(円)	交付決定額(円)
1	明治150年を契機とした観光目的地的及び産業創出事業	<ul style="list-style-type: none"> ・「サイクル県やまぐち」のイメージ創出に向け、サイクルスポーツ振興による交流人口の拡大を目指すために設立された実行委員会(競技団体、観光振興団体、経済団体等)に対する負担金 ※新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、イベントが中止となったことから、負担金の支出なし。(令和3年3月減額交付申請) 	0	0
2	人が集い賑わいのある商店街づくり支援事業	<ul style="list-style-type: none"> ・空き店舗や遊休不動産の活用に向けた不動産オーナー及び事業者啓発事業 ・中心商店街の遊休不動産のリノベーションに対する支援 ・ECサイトの活用手法、店舗ディスプレイの見直し、POPを活用した商品の魅力向上講座の開催 ・街づくり会社が実施する空き店舗対策や出店事業者の発掘、街づくり情報の周知 ・ICTの利活用による商店街活性化に向けて、商店街のWi-Fi環境の整備及びデータ活用の実証実験に対する支援 	12,969,500	10,850,000
3	人材確保力向上・人材育成重点プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者向けのセミナーや合同就職面接会の実施 ・多様な働き方の導入啓発のためのセミナー開催や、個別企業のハンズオン支援のためのアドバイザー派遣 ・IoT、AI技術の活用促進セミナーの開催 ・子育て女性向けのセミナー開催 ・従業員20人から50人未満の事業所を対象とした研修自主開催の経費に対する補助 	6,023,924	7,431,000
4	地方創生推進交付金 山口県連携都市圏域「山口ゆめ回廊」で育む観光圏域づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・山口県中央連携都市圏域7市町で開催する「山口ゆめ回廊博覧会」のプログラムプロデュース事業、7市町の観光資源を巡る山口ゆめ回廊モニターツアーの開催インバウンド観光ルートの造成、空港を活用した広域プロモーション事業 ・香山公園における多言語音声ガイドシステム構築及び情報発信、台湾誘客に向けたプロモーション事業 ・大殿地区における着物まちあるきイベントの実施、湯田温泉におけるまちあるきのためのフラッグ設置、「日本クルスマスは山口から」事業に対する補助 	168,011,399	83,338,000
5	道の駅「長門峡」を交流の核とした阿東地域ふるさとにぎわいプロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ブランド創出の推進(「阿東地域特産品開発ネットワーク会議」の活動の推進) ・既存資源の付加価値化(資源や自然、文化財等のブラッシュアップまたは新開発)について、支援または開発委託の実施 ・道の駅長門峡を起点とした交流人口の増加、地域内周遊促進のための取組の実施(リニューアールイベントの実施、プロモーションビデオの撮影、情報案内サイン(看板)の作成) 	12,359,580	7,542,000
6	未来に羽ばたく若者定住促進プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ・職業理解・企業見学フェアの開催、大学生向けWeb説明会・情報発信 ・圏域内中小企業の課題対応のための合同セミナー開催や専門家派遣、圏域の支援プラットフォームの構築・運営、支援コーナー設置 ・戦略的なシタイセールの要素を含めた情報誌の発行 	34,648,769	21,650,000
7	域外から稼ぐ力を生み出す「新たな産業・交流拠点」づくり推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・次世代型スマートホールの運営(現場見学会・完成記念式典の開催、備品購入) ・AI技術等の活用によるヘルスケア関連産業創出事業に係る県への負担金(「やまぐちヘルスケア関連産業推進協議会」の設置準備及び運営) ・アカデミーハウス次世代人材育成推進事業(準備業務委託、備品購入) ・新たなモビリティサービス調査・実証事業 	90,378,682	47,297,000
合 計			324,391,854	178,108,000
1	地方創生拠点整備交付金 徳地地域活性化プロジェクト「高齢者若者活性化センター」整備計画	<ul style="list-style-type: none"> 「高齢者若者活性化センター」について、手狭で狭小な特産品売場を改修し、売場面積を拡大することで、取扱商品を増やし、売り上げ増加を図るとともに、特産品等を通じて交流人口の増大を図る。また、徳地地域の交流の玄関口としての機能強化を図るため、地域情報コーナーを新設する。 ・改修工事 ・機械設備工事 ・電気設備工事 	27,403,200	15,000,000
合 計			27,403,200	15,000,000

明治150年を契機とした観光目的地及び産業創出事業

1 事業の概要

所管課	交流創造部スポーツ交流課	計画期間	平成28年4月 - 令和3年3月
交付金の種類	地方創生推進交付金	単独事業と 広域事業の別	広域 (山口県、山口市、美祢市、長門市)
政策目標	山口の魅力に磨きをかけ、新たな「ひと」の流れをつくる	政策目標	
具体的な施策	山口の個性を高め暮らしを楽しむ「文化・観光・スポーツなら山口」	具体的な施策	
具体的な取組	スポーツを楽しむまちづくり	具体的な取組	
政策目標		政策目標	
具体的な施策		具体的な施策	
具体的な取組		具体的な取組	
事業の概要 (目的)		事業実施の状況	
<p>「サイクル県やまぐち」のイメージ創出に向け、サイクルスポーツ振興による交流人口拡大を目指す。</p>		<p>◇「サイクル県やまぐち」の推進 「サイクル県やまぐち」の推進に向け設立された実行委員会に対する負担金</p>	
事業の概要 (経費内訳)		◇令和2年度については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、イベントが開催できなかった。(令和3年3月減額交付決定)	
<p>・総合サイクルイベント負担金(0千円)</p> <p>⇒令和2年度については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、イベントが開催できなかった。</p>			

2 本事業における重要業績評価指標 (KPI) の達成状況

(1) KPIの達成状況

KPI項目		単位	事業開始前	実績値(増分) (令和元年度)	実績値(増分) (令和2年度)	目標値(増分) (令和2年度)
①	観光客数(増加人数)	人	30,500,000	▲277,660	-	500,000
②	外国人延べ宿泊者数(増加人数)	人	86,580	▲18,270	-	28,017
③	観光消費額(増加額)	百万円	139,548	14,946	-	2,091
	※参考指標 シンボルイベントの参加者数(観客含む)	人		16,500	-	

(2) 評価

本事業の実施状況について			
事業効果	—	理由	令和2年度については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、イベントが開催できなかった。
実績値を踏まえた事業の今後について			
今後の方針	—	理由	令和2年度については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、イベントが開催できなかった。 今後の事業展開については、イベントのあり方や民間を主体とする団体の活用など、県とともに引き続き協議を進めていく。

人が集い賑わいのある商店街づくり支援事業

1 事業の概要

所管課	経済産業部ふるさと産業振興課	計画期間	平成30年8月 - 令和3年3月
交付金の種類	地方創生推進交付金	単独事業と 広域事業の別	市単(山口市)
政策目標	地域の特性に応じた持続可能な都市圏・生活圏の形成	政策目標	
具体的な施策	魅力あふれる県都づくり「広域県中核都市づくり」	具体的な施策	
具体的な取組	高次の都市機能の集積や提供	具体的な取組	
政策目標		政策目標	
具体的な施策		具体的な施策	
具体的な取組		具体的な取組	
事業の概要(目的)		事業実施の状況	
<p>リノベーション等空き店舗利活用やセミナー等経営基盤の強化、さらには新たな視点を取り入れたイベントの継続的な実施等、中心商店街の活性化を図ることで、空き店舗が一つもない、活気ある、賑わいのある中心商店街を形成するとともに、市内外から訪れたいと思えるような中心商店街の形成を図り、山口都市核全体の魅力創出につなげる。</p>		<p>(1) 空き店舗利活用による雇用の創出 ・空き店舗や遊休不動産の活用に向けた不動産オーナー及び事業者啓発事業 ・中心商店街の遊休不動産のリノベーションに対して支援を実施した。</p> <p>(2) 経営基盤の強化による生産性の向上 ・中心商店街の経営基盤の強化に向けて、ECサイトの活用手法、店舗ディスプレイの実践的な見直し、POPによる商品の魅力向上に係る講座を実施した。</p>	
事業の概要(経費内訳)		(3) まちの賑わいの創出と来街者増加に伴う生産性の向上	
<ul style="list-style-type: none"> ・空き店舗等利活用推進事業(1,870千円) ・経営力向上人材育成事業(825千円) ・中心商店街賑わい・交流創出事業(6,504千円) ・中心商店街魅力発信事業(566千円) ・中市街地リノベ事業(1,676千円) ・商店街ポテンシャル向上事業(1,529千円) 		<ul style="list-style-type: none"> ・一時的な賑わいではなく、継続性のある見込めるイベントについて空き店舗等を活用し、多様な主体との連携により実施した。 ・街づくり会社が実施する空き店舗対策や出店事業者の発掘、街づくり情報の周知など、情報を一元的に発信するための仕組みの構築を支援した。 ・ICTの利活用による商店街活性化に向けて、商店街のWi-Fi環境の整備及びデータ活用の実証実験に対して支援を実施した。 	

2 本事業における重要業績評価指標(KPI)の達成状況

(1) KPIの達成状況

KPI項目		単位	事業開始前	実績値(増分) (令和元年度)	実績値(増分) (令和2年度)	目標値(増分) (令和2年度)
①	中心商店街への新規出店店舗数	店舗	32	8	5	9
②	中心商店街への新規出店店舗従業員数	人	0	25	15	36
③	中心商店街の来街者数(山口市商店街通行量調査)	人	54,798	-	-	1,000

(2) 評価

本事業の実施状況について			
事業効果	本事業は地方創生に効果があった。	理由	KPIの達成状況では、目標値を下回ったが、本事業の実施により空き店舗の利活用が促進されるとともに、継続的な賑わいの創出に向けた取組につながった。
実績値を踏まえた事業の今後について			
今後の方針	事業が効果的であったことから取組の追加等更に発展させる。	理由	中心商店街活性化に向けた取組については、効果の発現に時間を要するため、一過性の取組にならないように、積み重ねと発展が求められるため。

人が集い賑わいのある商店街づくり支援事業の概要

<空き店舗利活用による雇用の創出>

● 空き店舗等利活用推進事業

中心商店街エリアにおいて、先進事例の紹介や、空き店舗等の利活用に向けたセミナーを実施し、まちづくり関係者や出店希望者、不動産オーナー等の意識啓発を図るとともに、遊休不動産活用の具体的な案件発掘を図った。

① 未来型まちづくりセミナー

先進事例として高松丸亀町商店街の商店街組合理事長を講師に、商店街を舞台にした独創的なまちづくり手法を学ぶセミナーを実施。

【参加者数】 25名（うちオンライン 10名）

② 空き店舗&空き家対策セミナー

奈良県で活躍する「空き家コンシェルジュ」を講師に迎え、不動産オーナーや、空き店舗で事業を実施したいプレイヤー等を対象に、遊休不動産活用に向けた具体的な取組に係るセミナー及び個別相談会を実施。

【参加者数】 31名（うちオンライン 13名）

③ 空き店舗リノベーション事例制作

商店街の空き店舗の利活用に向けて、山口大学リノベ部参画のもと、実証的な取組としてモデル店舗の具体的なリノベーション設計事例の作成を実施。



● 中心商店街空き店舗活用促進リノベーション支援事業

空き店舗のリノベーション、又は住居・店舗一体型物件における住居・店舗部分の分離等、店舗の最適化を行った不動産オーナーに対し、予算の範囲内においてその経費の一部を補助することにより、魅力ある商店街づくりを推進し、商店街の活性化を図った。

【交付実績】 1件 1,630千円

<経営基盤の強化による生産性の向上>

● 経営力向上・人材育成事業

中心商店街店舗の「稼ぐ力」を身につけるため、すぐに取り組める販促ツールの実践セミナーや店舗レイアウトの個別指導を実施。

① 手作りPOPで売上UP

思わず手に取りたくなるPOPの作り方を学ぶセミナーを実施。顧客心理や色の与えるイメージ等の解説、POPづくりの実践等。【参加者数】 10名

② ネットショップを開設しよう

小規模事業者が利用しやすいネットショップや導入手



法を学ぶセミナーを実施。近年のネットショップの市場動向やネットでの販路、今後の業界予測と併せて、実践的な手法をレクチャーした。【参加者数】8名

③アフターコロナに向けた店舗レイアウト見直し

店舗の魅力アップに向けて、客導線やディスプレイの見直しなど、現地での直接指導を実施。【参加店舗】3店舗

<まちの賑わいの創出と来街者増加に伴う生産性の向上>

●中心商店街賑わい創出事業

中心商店街の主体的な取組をはじめ、百貨店や高等学校など、周辺施設等と連携し、商店街全体の集客に結び付く各種イベントを行うとともに、山口ならではのテーマや、収益性が図れる持続性の高い体験等のイベントなど、独自の企画を実施することにより、新たな来街者の獲得と賑わいの創出及び回遊性の向上を図った。

【実施イベント】

- ・エールやまぐち 商店街リンドウプロジェクト ・まちなかランチタイムマップ
- ・大学生コンペ事業 ・山口まちゼミ ・山口井筒屋チャレンジショップ
- ・山口まちなかバル ・シャッターアート商店街 ・山口クラフトマルシェ



シャッターアート

●にぎわいのまち支援事業

中心商店街においてにぎわいの創出に資する取組を実施する団体に対して支援を実施した。

【支援した取組】

- ・こめこめマルシェ ・西門前100円商店街 ・ハロウィン仮装コンテスト
- ・商店街フォトコンテスト inSNS

●中心商店街魅力発信事業

中心市街地の活性化を担う街づくり会社に対して、必要な情報を効果的かつ魅力的なコンテンツとして整備し、一元的・継続的に発信できるウェブサイトとして構築する事業に対する支援を実施。

● ICT利活用商店街ポテンシャル向上事業

中心商店街に無線LANアクセスポイントを設置し、フリーWi-Fi機能を提供することで、来街者の利便性を高めるとともに、利用者のデータ分析を実施し、中心市街地のまちづくりにおけるデータマーケティング及び回遊性の向上に向けた実証を実施した。

人材確保力向上・人材育成重点プロジェクト

1 事業の概要

所管課	経済産業部ふるさと産業振興課	計画期間	平成31年4月 - 令和4年3月
交付金の種類	地方創生推進交付金	単独事業と広域事業の別	市単(山口市)
政策目標	誰もが安心して働くことのできる「しごと」をつくる	政策目標	
具体的な施策	産業活力・地域雇用を創出する「働く・起業なら山口」	具体的な施策	
具体的な取組	多様な働き方の創出による人材確保	具体的な取組	
政策目標		政策目標	
具体的な施策		具体的な施策	
具体的な取組		具体的な取組	
事業の概要 (目的)		事業実施の状況	
<p>高齢者を対象としたセミナー・合同就職面接会や、市内企業に対する経営戦略の在り方や先端技術の活用等を習得するセミナーのカリキュラム構築、また、働き方改革セミナー等を実施することにより、中小企業の人材確保力の向上、中小企業の生産性向上・人材育成による経営基盤の強化、働きやすい職場の形成や多様な働き方の推進を図る。</p>		<p>(1) 中小企業の人材確保力の向上 ・高齢者向けのセミナーや合同就職面接会の実施 ・多様な働き方の導入を啓発するためセミナー開催や個別企業のハンズオン支援のためのアドバイザー派遣の実施 ・企業の採用情報の集約や企業の魅力発信など人材確保のサポートとなるサイトを構築 ・潜在的な人材等をマッチングできる環境を戦略的に創出する市内ベンチャー企業等に対して、開発費等に補助金を交付 ・障がい者雇用に係る理解促進を図るセミナーの開催 (2) 中小企業の実産性向上・人材育成による経営基盤の強化 ・IoT、AI技術の活用促進セミナーの開催 (3) 働きやすい環境の形成や多様な働き方の推進 ・子育て女性向けのセミナー開催 ・従業員20人未満の事業所を対象とした働き方改革セミナーの開催 ・従業員20人から50人未満の事業所を対象とした研修自主開催の経費に補助金を交付 ・外国人労働者の受入にかかるセミナーの開催</p>	
事業の概要 (経費内訳)			
<p>人材確保企業重点支援事業(2,517千円) 特定求職者雇用促進事業(350千円) 経営戦略デザイン事業(347千円) 働き方改革推進事業(2,811千円)</p>			

2 本事業における重要業績評価指標 (KPI) の達成状況

(1) KPIの達成状況

KPI項目		単位	事業開始前	実績値(増分) (令和元年度)	実績値(増分) (令和2年度)	目標値(増分) (令和2年度)
①	支援事業を通じた参加企業の人材確保(雇用数)	人	0	112	2	20
②	支援事業を通じた新規就業者数(高齢者・女性・障がい者)	人	0	92	17	10
③	支援事業を通じて生産性向上や人材確保、職場環境の改善等に取組んだ参加企業の割合	%	0	74	-10	10
④	支援事業を通じて就職活動を開始した子育て女性等参加者の割合	%	0	53	-4	15

(2) 評価

本事業の実施状況について		
事業効果	本事業は地方創生に効果があった。	理由 高齢者や子育て女性、障がい者、外国人労働者などの多様な人材を雇用する職場環境の見直しやIoTやAIによる業務内容の改善など企業の受入体制に係る啓発を行い、マッチング機会を創出することで雇用の創出や地域経済の活性化が図られた。
実績値を踏まえた事業の今後について		
今後の方針	事業が効果的であったことから取組の追加等更に発展させる。	理由 働き方改革など働きやすい職場環境の整備や多様な人材の受入れのための業務の棚卸などを通じて中小企業の人材確保に係る体制整備を行うとともに、IoTやAIを活用した生産性の向上や経営基盤の強化を図ってきた。来年度においても中小企業のニーズに合わせて継続・発展的に実施していく。

人材確保力向上・人材育成重点プロジェクトの概要

<中小企業の人材確保力の向上>

●人材確保企業重点支援事業

- ・人材確保力向上に係るセミナー開催とマッチングサービスの創出に対する補助金の交付など

アクティブシニア向け就職面談会、短時間勤務等の柔軟な働き方の啓発セミナーを開催し、多様な人材活用を促す支援を実施した。

人材確保のためのサイト事業では、「やまぐちしごと応援サイト」のコンテンツの充実のため、求職者向けに企業紹介動画等の公開や、企業向けセミナー・補助金情報の発信を行うことで市内企業の人材確保を後押しした。

確保応援補助金では、協同組合等の中小企業団体が主体となる業界ごとの人材確保につながる取組に対して補助金を交付した。

企業向けの外国人材受入促進セミナーでは、今後受入を考えている企業が外国人材雇用にあたって必要な知識を習得し、受け入れ体制を整えるための啓発セミナーを開催した。



【各種セミナー・就職面談会】開催数：計3回、22社参加

【人材確保応援補助金】交付件数：中小企業団体2団体

●特定求職者雇用促進事業

- ・障がい者雇用に係るセミナーの開催

障がい者と企業の相互理解を深め、市内企業の障がい者雇用の受入促進のためのセミナーを開催。多様性を活かすことで価値を生み出す企業の事例を学び、各企業での取組を促進した。

【開催回数】1回 【参加人数】22社23名

<中小企業の生産性向上・人材育成による経営基盤の強化>

●経営戦略デザイン事業

市内中小企業における生産性向上や販路拡大等を目的として、企業がIoT・AI等先端技術の活用やデザイン経営を取り入れて自社の経営戦略を立案、展開及び人材育成等を図る取組を支援した。

令和2年度は、多くの事業者がコロナによる影響を受ける中、持続可能な経営に向け、経営戦略を再構築する重要性が増していたことから、経営者や後継ぎ世代を主対象にした経営デザイン導入促進セミナーを実施。人材育成や事業承継、DX促進など幅広い観点から中長期的な経営戦略を策定するためのセミナーを行い、その後希望する事業者に対して個別の相談支援を実施するなど、地域の事業者の経営基盤強化を促進した。

【開催回数】1回 【参加人数】10名



<働きやすい職場環境の整備や多様な働き手の掘り起こし>

●働き方改革推進事業

・企業向けの働き方改革や、子育て女性向けの就労意識啓発に係るセミナー開催

企業向けセミナーでは、従業員20人未満の企業を対象に、IT化の取組事例や、制度導入に係るメリット紹介により、働き方改革に向けた取組の啓発を行った。また、20人以上50名未満の企業を対象に、各企業に専門家を派遣し、それぞれが抱える課題に応じたテーマで社内セミナーを行った。

子育て女性向けセミナーでは、両立の心構えや就活の進め方を学ぶワークショップを実施した。また、地元企業と就労意欲のある子育て女性の交流会を実施し、マッチングを図った。

- 【開催回数】 企業向け集合型セミナー1回
子育て女性向けセミナー1回
講師派遣型セミナー開催3社

- 【参加人数】 企業向け集合型セミナー6社6名、子育て女性向けセミナー18名
地元企業と子育て女性の交流会 企業3社、女性10名



山口県央連携都市圏域「山口ゆめ回廊」で育む観光圏域づくり

1 事業の概要

所管課	交流創造部観光交流課	計画期間	平成31年4月 - 令和4年3月
交付金の種類	地方創生推進交付金	単独事業と広域事業の別	広域 (山口市、宇部市、萩市、防府市、美祢市、山陽小野田市、島根県津和野町)
政策目標	山口の魅力に磨きをかけ、新たな「ひと」の流れをつくる	政策目標	
具体的な施策	山口の個性を高め暮らしを楽しむ「文化・観光・スポーツなら山口」	具体的な施策	
具体的な取組	おいでませ山口・観光地域づくり	具体的な取組	
政策目標		政策目標	
具体的な施策		具体的な施策	
具体的な取組		具体的な取組	
事業の概要（目的）		事業実施の状況	
<p>山口県央連携都市圏域を構成する7つの市町（連携中枢都市である山口市・宇部市、及び連携市町である萩市・防府市・美祢市・山陽小野田市・島根県津和野町）においては、広域での観光資源のネットワーク化を行う方向性のもと、当該圏域内の魅力を圏域内外に強力にアピールし交流人口の拡大・交流効果の最大化に向けたオープンエリア型の周遊型博覧会を2021年に開催することとしている。</p> <p>市町の垣根を越えた連携による一体的な取組体制を構築し、圏域市町の強みを活かした効果的な圏域の面的な集客戦略を推進する。</p>		<p>◇7市町の個性をつなげる一体的な取組体制構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ・博覧会プログラムプロデュース事業 ・7市町の観光資源を巡る山口ゆめ回廊モニターツアーの開催 ・7市町の観光資源をPRするインバウンドFIT観光ルートの造成 ・空港を活用した広域プロモーション事業 等 <p>◇インバウンド誘客事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・香山公園における多言語音声ガイドシステム構築及びWeb情報発信 ・台湾誘客に向けたプロモーション事業 等 <p>◇周遊促進及び滞在消費喚起事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山口ゆめ回廊開催 ・観光周遊1日乗車券事業 ・「新山口駅開業120周年祭」における県央7市町観光物産PRイベント実施 ・日本のクリスマスは山口から事業補助 ・修学旅行プラン造成 等 	
事業の概要（経費内訳）			
<ul style="list-style-type: none"> ・7市町の個性をつなげる一体的な取組体制構築事業(86,396千円) ・インバウンド誘客事業(15,254千円) ・周遊促進及び滞在消費喚起事業(67,215千円) 			

2 本事業における重要業績評価指標（KPI）の達成状況

(1) KPIの達成状況

KPI項目		単位	事業開始前	実績値(増分) (令和元年度)	実績値(増分) (令和2年度)	目標値(増分) (令和2年度)
①	交流人口(観光客数)	人	14,884,000	2,800,636	-4,664,741	555,000
②	外国人観光客数	人	195,000	-10,130	-252,836	57,000
③	観光消費額単価	円/人・回	30,327	4,219	-4,358	3,660

(2) 評価

本事業の実施状況について			
事業効果	本事業は地方創生に相当程度効果があった。	理由	新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、事業の中止、縮小を余儀なくされる中、早い段階から7市町の観光セクションにて、感染拡大防止と地域経済活動の両立に向け、十分な感染拡大防止対策を講じての事業の実施に取り組んだ結果、2020年9月の観光庁宿泊旅行統計調査にて、都道府県別宿泊者数は、山口県は8.5%の増と、全国で唯一対前年同月比でプラスを記録するなど、交流人口の下落幅の抑制が図られたため。
実績値を踏まえた事業の今後について			
今後の方針	事業が効果的であったことから取組の追加等更に発展させる。	理由	令和2年度の取組の成果を踏まえながら、ウィズコロナの中で、地域の経済活動を停滞・停止させることのない観光の形を目指し、コロナ禍における新しい生活様式や行動様式等の社会の変化に対応しながら、まずは県内や隣県を対象としたマイクロツーリズムの推進に取り組み、感染状況を見極めながら、大都市圏、そして海外へと誘客の対象地域を段階的に拡大し、持続可能な観光地域づくりに取り組む。

【令和2年度取組実績】

山口県央連携都市圏域「山口ゆめ回廊」で育む観光圏域づくりの概要

< 7市町の個性をつなげる一体的な取組体制構築事業 >

●周遊型博覧会を通じた広域連携体制づくり事業

山口県央連携都市圏7市町において令和3年度に開催する「山口ゆめ回廊博覧会」に向けた各種プレ事業の実施。

(プレ博覧会会期：7月1日～12月31日)

- ・博覧会実行委員会の事務局運営

博覧会実行委員会総会の開催：3回

- ・博覧会広域連携プログラムの企画・実施

山口ゆめ回廊地域通訳案内士育成

育成研修の実施：合格者数25名(研修参加者39名)

案内士登録件数：50名(累計)

(英語16名、スペイン語2名、中国語5名、韓国語2名)

広域周遊プログラム「うちら！ななゆめ調査団」

実施エリアを圏域7市町に拡大し実施(令和元年度は2市)

実施期間：9月1日～12月27日

参加人数：約52,600人



ゆめ散歩

地域資源を深く知り、体験していただく専門家や地域住民によるガイドプログラムを計31回実施した。

ユニークベニューYumehaku Art & Food in RURIKOJI

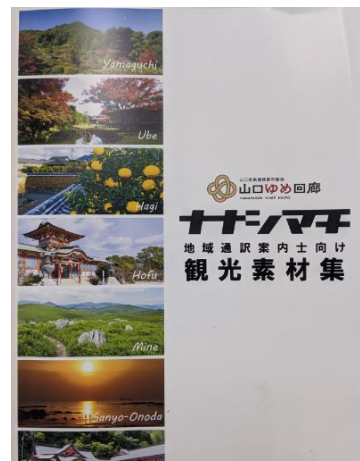
国宝瑠璃光寺のある山口市香山公園において、料理家でアーティストの船越雅代氏による7市町の食材を取り入れた料理と独創的なアート演出により特別な空間を提供し、圏域の魅力を発信した。



●インバウンドFIT観光ルート造成業務

本市において、外国人観光客数は、近年増加傾向にあるものの、滞在時間の延長や来訪者がリピーターとなりえる観光体験等の滞在型コンテンツが不足している現状があることから、本市のみならず、圏域7市町の観光資源も活用する旅行商品を造成することで、本市を含む圏域内を周遊するインバウンドの増加を目指すもの。

【PR・商談用観光素材の調査及び商談用素材冊子の作成】



<インバウンド誘客事業>

●香山公園観光情報における多言語音声ガイドシステム構築及びWeb情報発信

香山公園内の史跡・見どころを、インバウンド客や在住外国人を含めた多くの人々が利用できるよう多言語による音声ガイドで紹介。ICTを活用しスマートフォン等で視聴可能なものとするとともに、当該音声ガイドシステム構築により作成した香山公園内の観光情報データを集約し、「香山公園・国宝瑠璃光寺五重塔」エリアの魅力を紹介するWeb特設ページを作成、山口市観光情報サイト「西の京やまぐち」に掲載した。

- ・音声ガイドコンテンツ：総合案内ほか10個
- ・言語数：日・英・スペイン・韓・中国語（簡体）・中国語（繁体）の6言語



●台湾誘客に向けたプロモーション事業

山口市のインバウンド重点市場の一つであり、北投温泉や花博・ランタンフェスティバル等で本市との交流の深い台湾に対し、台湾人が山口市を旅する当事者目線の番組を制作。現地テレビ番組や日本旅行専門WEBサイト、SNS等を通じて本市の観光コンテンツや観光体験の情報発信を行った。

また、台湾出身の国際交流員が市公式SNS（Instagram・Facebook）にて、市の観光地やイベントを紹介（繁体語、日本語）し、コロナ禍でも山口市の魅力在海外に広める取組を行った。



<周遊促進及び滞在消費喚起事業>

●山口ゆらめき回廊開催

国宝瑠璃光寺五重塔がある山口市香山公園の散策路に約1,000個のキャンドルが灯され、公園全体が幽玄の光に包まれる特別演出イベントを4日間にわたり開催。ライトアップされた五重塔の下、園内を巡る散策路にキャンドルが揺れる幻想的な景色の演出や、音楽コンサートを開催することで、夜のイベント参加による宿泊客の増とともに交流人口の拡大を図った。令和2年度は、雪舟生誕600年を記念し、公園内の雪舟像をライトアップするとともに、連携する7市町をイメージする7色のキャンドルを灯し、令和3年度に開催する山口ゆめ回廊博覧会のPRを行った。



- ・開催日：9月26日（土）、27日（日）、10月10日（土）、11日（日）
- ・参加者数：のべ6,301名

●観光周遊1日乗車券事業

湯田温泉から大内文化ゾーンへの周遊観光・2次交通の整備・補完を目的に、ワンコイン（500円）で、コミバス（全区間）と周遊タクシー（瑠璃光寺五重塔・常栄寺雪舟庭・山口市菜香亭）に、1日に何度でも乗り降りできる1日乗車券事業を実施した。

JR山口駅や五重塔前のバス停では、やまぐち萩往還語り部の会会員による案内を行い、おもてなしの向上を図った。

- ・実施期間：9月～12月の土日祝（38日間）
- ・乗車券販売枚数：293枚



●「新山口駅開業120周年祭」における県央7市町観光物産PRイベント実施

本市の陸の玄関である新山口駅の開業120周年を記念して開催された「新山口駅開業120周年祭」に、地元地域との連携のもと、本市の食やイベント等観光PRとともに7市町の観光の要素を組み込み、令和3年に開催する山口ゆめ回廊博覧会をあわせてPRし、広域観光連携によるスケールメリットを生かした誘客促進、認知度の向上を図った。



- ・開催日：12月5日
- ・参加者数：約2,000人

●日本のクリスマスは山口から事業補助

「日本のクリスマスは山口市から始まった」という史実を地域資源として捉え、後世に伝えるとともに、山口市の交流人口の拡大、地域経済への波及効果をもたらす活動を展開する「日本のクリスマスは山口から実行委員会」の取組に対し、補助金を交付。

令和2年度は、「日本のクリスマスは山口から クリスマスイルミネーション点灯式」、旧山口サビエル記念聖堂「シンボルモニュメントの点灯」などが実施された。



●修学旅行プラン造成による誘客促進事業

コロナ禍における新たな旅行スタイル「マイクロツーリズム」が注目される中、県内や近隣県からの修学旅行を誘致するため、パートナー協定を締結する美祢市と連携して、それぞれの魅力を生かした多彩な体験プログラムの造成や宿泊施設等との調整を行い、修学旅行プラン造成による新たな誘客を図った。

- ・造成プラン数：5プラン
- ・受入可能宿泊施設：4施設
- ・昼食施設：3施設

教育旅行プログラム

カルスト台地を満喫プログラム

秋吉台・秋吉洞を巡る探検コース!!
カルスト台地の誕生と湧ける大地が湧き出した不思議な景観の秘密を確かめよう!
ジオサイトが化石観察や実験などをを行いながら、秋吉台のでき方、日本列島のでき方など大地の成り立ちや歴史を楽しくご案内します。

○プログラムの効果 ①大地の成り立ちを学ぶ ②大地と人の関わりを知る ③持続可能な開発とは?

プログラムの流れ	プログラムの学習のポイント
① 1日2コース(午前・午後) 探検コース ～ジオサイト見学～ ジオサイト見学(探検コース) ジオサイト見学(探検コース) ジオサイト見学(探検コース)	●大地の成り立ち どうやって秋吉台はできたの?プロシエーションマンダンプや化石の観察、石炭層が湧く実験を通して秋吉台の成り立ちについて学びます。
② 探検体験 ～実験に挑戦～ ～実験に挑戦～ ～実験に挑戦～	●洞窟のでき方 石灰岩は溶ける! 割れ目から地下水が流れ、石灰岩を溶かし、洞窟の形成が起きると洞窟は大きくなります。洞窟のでき方を学びます。
③ 大地と人の関わり ～秋吉台の歴史～ ～秋吉台の歴史～ ～秋吉台の歴史～	●大地と人々の関わり 春1日の山登りによって秋吉台を維持している秋吉台は、人の手によって守られている懸崖です。秋吉台の保全の歴史について学びます。
④ 持続可能な開発 ～秋吉台の保全と開発の歴史～ ～秋吉台の保全と開発の歴史～ ～秋吉台の保全と開発の歴史～	●持続可能な開発 秋吉台の保全と開発の歴史を学び、未来の世代のためにできることを考えてみましょう。

美祢市や新居町でコロナウイルス対応ガイドライン遵守

実施機関	実施日・時間
美祢市	10月17日
新居町	10月18日
実施時間	約2時間
実施対象人数	50名程度(50名以上は2回開催)
料金	小学生500円、中学生500円、高校生500円、大人800円(税別、授業料は別途)

© 2020 美祢市・新居町教育委員会・美祢市観光協会

●「みんな大好き！KOMEZUKI祭ー1年祭」開催

令和3年開催の「山口ゆめ回廊博覧会」で実施予定の「みんな大好き！KOMEZUKI祭」のプレイベントとして、本市の食とアートをテーマに、お米をはじめとする市内の優れた農林水産物や畜産物、文化等を圏域内外にPRし、本市の交流人口の創出、消費拡大を目指し開催。お米の食べ比べやごはんにあうおかず、お酒などの飲食・物産販売を行うとともに、会場である中央公園のユニークベニユー会場としてのモデル的実施の検証を行い、今後の利用促進につなげた。

- ・開催日：10月17日(土)、18日(日)
- ・参加者数：約2,400人
- ・出店者：飲食14店舗、物産3店舗



道の駅「長門峡」を交流の核とした阿東地域ふるさとにぎわいプロジェクト

1 事業の概要

所管課	阿東総合支所地域振興課	計画期間	令和元年8月 - 令和4年3月
交付金の種類	地方創生推進交付金	単独事業と 広域事業の別	市単(山口市)
政策目標	誰もが安心して働くことのできる「しごと」をつくる	政策目標	
具体的な施策	産業活力・地域雇用を創出する「働く・起業なら山口」	具体的な施策	
具体的な取組	農林水産業の経営基盤強化と担い手育成	具体的な取組	
政策目標		政策目標	
具体的な施策		具体的な施策	
具体的な取組		具体的な取組	
事業の概要 (目的)		事業実施の状況	
<p>阿東地域の点在する地域資源を地域全体で再確認・再構築・ネットワーク化する活動を通じ、これら地域資源を付加価値化、新しく開発し、道の駅「長門峡」をアンテナショップとして、これらの特産品等の展示・販売や長門峡・その他地域観光資源等の四季折々の情報など、モノと情報を集約し発信することによる、魅力を感じさせる一連の取組をコンセプトとし、大規模リニューアルを行った阿東地域の交流の核である道の駅「長門峡」の交流人口の増加を図るとともに、広大な阿東地域の各所への周遊促進につながる事業を一体的に展開する。</p>		<p>■【資源をつなぐ】取組(地域ブランド創出の推進) 「阿東地域特産品開発ネットワーク会議」の活動の推進</p> <p>■【資源を磨く】取組 既存資源の付加価値化(資源や自然、文化財等のブラッシュアップまたは新開発)について、支援または開発委託を実施</p> <p>●新商品の開発・・・5商品 あとう和牛肉丼、長門峡梨ワイン「元祖の夢ワイン」、新・徳佐りんごジュース「陽光の輝き」、山田錦せんべい、生米麴</p> <p>●野菜増産モデル事業 栽培講習3回、道の駅長門峡までの野菜集荷</p> <p>●常德寺庭園の保存整備 開園式典の実施</p> <p>■【資源を発信する】取組 道の駅長門峡を起点とした交流人口の増加、地域内周遊促進のための取組を実施</p> <p>●道の駅長門峡2020(リニューアルイベント)の実施 ●阿東地域のプロモーションビデオ作製のための撮影 ●情報案内サイン(看板)の作成・・・5カ所</p>	
事業の概要 (経費内訳)			
<ul style="list-style-type: none"> ・地域ブランド創出の推進(1,500千円) ・地域資源の付加価値化の支援(3,660千円) ・道の駅長門峡を核としたプロモーション(7,200千円) 			

2 本事業における重要業績評価指標 (KPI) の達成状況

(1) KPIの達成状況

KPI項目		単位	事業開始前	実績値(増分) (令和元年度)	実績値(増分) (令和2年度)	目標値(増分) (令和2年度)
①	阿東地域の交流人口	人	409,676	138,718	-84,162	12,000
②	道の駅「長門峡」の売上額	円	223,411,649	99,232,693	4,316,534	68,235,000
③	道の駅「長門峡」への野菜出荷件数	件	52,412	31,481	-5,377	6,000
④	新商品の開発数	件	0	5	5	2

(2) 評価

本事業の実施状況について		
事業効果	本事業は地方創生に効果があった。	理由 「阿東地域特産品開発ネットワーク会議」に招聘しているアドバイザーの活用により、地域資源の付加価値化(新商品の開発)につながった。また、アンテナショップとしての道の駅「長門峡」での新商品の販売等により、コロナ禍で人流が制限される中で目標は一部下回る結果となったが、事業開始前以上の交流人口と売上の確保につなげることが出来た。
今後の方針	事業が効果的であったことから取組の追加等更に発展させる。	理由 目標値を下回った要因は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による人流抑制によるものであるため、非接触型決済の導入等のコロナ対応を進めつつ、地域のモノやヒトのネットワーク化、共有化を継続し、更なる地域資源の付加価値化に取り組み、交流人口の増加と地域経済の活性化を目指す。

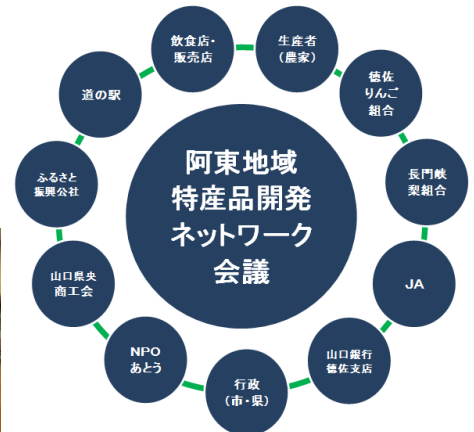
道の駅「長門峡」を交流の核とした阿東地域ふるさとにぎわいプロジェクト

■【資源をつなぐ】取組

◇「阿東地域特産品開発ネットワーク会議」の活動の推進

阿東地域のコミュニティと地域振興を両立したモデルを共に創造するため、各々の課題や情報を共有し、地域住民が主体的かつ持続可能な活動を目指し取組を進める。

地域のモノやヒトなどの個々の地域資源をネットワーク化、共有化を図り、それらを活用し新たな価値の付加等を手掛ける。



■【資源を磨く】取組

「阿東地域特産品開発ネットワーク会議」で発案された商品を新しい特産品として開発するなど、“食”に係る資源や自然、文化財等の既存資源の付加価値化、またはブラッシュアップを図り、地域資源の魅力を高める。

◇新商品の開発…5商品



あとう和牛肉丼



長門峡梨ワイン
「元祖の夢ワイン」



新・徳佐りんごジュース
「陽光の輝き」



山田錦せんべい



生米麴

◇既存商品の拡充・リニューアル開発…2商品



長門峡梨セミドライ
(二十世紀追加)



長門峡の梨ジャム
(リニューアル)

■【資源を発信する】取組

道の駅長門峡を訪れた方の地域内周遊を促進するため、道の駅長門峡でのイベント開催、地域内5カ所の案内板改修、地域を紹介するプロモーション動画作成のための動画素材収録を実施。



案内板サインの改修 (5カ所)



プロモーション動画の素材収集

未来に羽ばたく若者定住促進プロジェクト

1 事業の概要

所管課	経済産業部ふるさと産業振興課	計画期間	令和2年4月 - 令和5年3月
交付金の種類	地方創生推進交付金	単独事業と広域事業の別	市単(山口市)
政策目標	誰もが安心して働くことのできる「しごと」をつくる	政策目標	山口の魅力に磨きをかけ、新たな「ひと」の流れをつくる
具体的な施策	産業活力・地域雇用を創出する「働く・起業なら山口」	具体的な施策	協働による「個性と安心の21地域づくり」
具体的な取組	サービス業・商工業の多様な雇用の場づくり	具体的な取組	中山間・南部地域の活力アップ～農山村の振興～
政策目標		政策目標	
具体的な施策		具体的な施策	
具体的な取組		具体的な取組	
事業の概要(目的)		事業実施の状況	
<p>山口県央連携都市圏域の学生を対象とした就職フェア等の開催、県外に進学・就職した学生等への地元企業の情報発信、圏域内の地元企業の魅力を知ってもらうためのイベントを開催することで、地元就職意識の醸成・定着を図る。</p> <p>また、中小企業の事業承継等による就労の受け皿・環境づくりとして、圏域内中小企業の合同セミナーの開催や専門家派遣、圏域の支援プラットフォームの構築・運営等を行う。</p> <p>さらに、企業の魅力や仕事のやりがい、地方での豊かな暮らしを情報発信することで、若者の定住を促進する。</p>		<p>(1) 地元学生への職業観の醸成や地元就職意識の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職業理解・企業見学フェアの開催、大学生向けWeb説明会・情報発信、情報関連企業との就労マッチング事業の実施 ・若者に地域活動やまちづくり活動への参加を促進する事業の実施 ・大学生を対象として、就業環境の見学や先輩職員と交流を図る企業訪問事業の実施 ・メディア芸術を中心とした職業観の醸成 ・入社後3年以内の若手社員を対象としたセミナーの開催や、企業全体のボトムアップを図るための経営者やメンター向けセミナーの開催 <p>(2) 中小企業の事業承継等により就労の受け皿づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・圏域内の中小企業の「後継者不足」「人材不足」の課題に対応するための合同セミナー開催や専門家派遣、圏域の支援プラットフォームの構築・運営、専門支援コーディネーターの配置 ・魅力的で働きやすい企業を目指し、就労に対する職場環境の整備や採用手法の習得に関するセミナーを開催 <p>(3) 企業の魅力や仕事のやりがい、地方での豊かな暮らしを情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本市の暮らしやすさや魅力をわかりやすく伝え、新たに戦略的なシティセールスの要素を含めた情報誌の発行(紙媒体及びweb版での作成) ・大学生に市広報番組等の企画・制作に参加していただき、若者目 	
事業の概要(経費内訳)			
<ul style="list-style-type: none"> ・就職支援事業(21,665千円) ・小郡がつながる・つなげる交流促進事業(2,927千円) ・UJIターン就労支援事業(186千円) ・子ども芸術体感事業(248千円) ・雇用対策事業(689千円) ・就労の場と雇用を確保する事業承継支援事業(4,000千円) ・人材確保企業重点支援事業(383千円) ・シティセールス推進事業(4,390千円) ・若者による市の魅力発信事業(153千円) 			

2 本事業における重要業績評価指標(KPI)の達成状況

(1) KPIの達成状況

KPI項目		単位		事業開始前	実績値(増分) (令和2年度)	目標値(増分) (令和2年度)
①	就職フェア等の参加者アンケートでの地元企業に就職したい割合(「就職したい」「検討したい」等の肯定的な項目を選択した人数/回答人数)	%	-	0	86	30
②	事業承継・DX化に係る支援件数	件	-	0	14	25
③	「若年UJIターン者移転補助金」交付件数の累計	件	-	5	2	5
④	市内4大学等(山口大学、山口県立大学、山口学芸大学、山口芸術短期大学)の県内就職率	%	-	36	0	3

(2) 評価

本事業の実施状況について		
事業効果	本事業は地方創生に効果があった。	理由 KPIの達成状況では、KPI①以外の項目について、新型コロナウイルス感染症の影響もあり目標値を下回ったが、本事業において、若者への地元企業や職業を知る機会の提供・魅力の発信、企業に対する就労の受け皿づくりの支援を通じ、若者の定住促進に向けた機運の醸成につながった。
実績値を踏まえた事業の今後について		
今後の方針	事業が効果的であったことから取組の追加等更に発展させる。	理由 若い世代への地元就職に向けた機運の醸成が図られるとともに、コロナ禍における若者の地方移住への関心の高まりを踏まえ、引き続き、取組を進めていく必要がある。

未来に羽ばたく若者定住促進プロジェクトの概要

<地元学生の職業観の醸成や地元就職意識の向上>

●就職支援事業

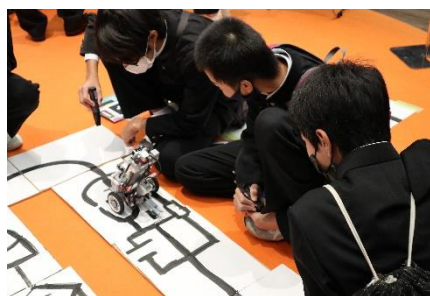
・中高生向け職業理解・仕事体験イベント「やまぐち未来のしごとフェスタ」 開催

山口市内を中心とした連携都市圏域内の中高生等を対象に、魅力ある地元企業の仕事を体験できる機会を提供することで、中高生に働くことの意義を感じてもらうとともに、将来的な地元就職意識の醸成を図ることを目的とした企業集合型職業体験イベントを開催した。

出展企業数：42の企業及び業界団体

参加学校数：市内中学校15校、市内高校2校、防府市中学校4校

来場者数：2,665名（2日間計）



・情報関連事業アドバイザーとの提携

情報関連事業の専門家とアドバイザー契約を結び、関連企業の誘致、誘致企業へのアフターフォロー、就職マッチング、プログラミング教育、その他 IT の普及と人材育成等に関するアドバイスを受けるとともに、行政、企業、教育機関、医療福祉等様々な分野での IT に関する取組みを連携させるための情報交換会を行い、本市の情報関連企業の雇用の創出、県内企業の周知など計画立案に反映した。

【定期協議回数】9回

【企業等を含めた協議回数】7回

・大学生向け web 説明会・情報発信動画の作成

県外に進学・就職した学生等へ地元企業の情報を発信するため、企業紹介動画を作成し、youtube や「やまぐちしごと応援サイト」へ掲載し、県内外問わず幅広く若者の地元就職意識の醸成を図った。

【作成動画数】11社

●若者に地域活動やまちづくり活動への参加・参加を促進する事業の実施

・実行委員会への事業支援

小郡地域ふるさとにぎわい計画「小郡がつながる・つなげるプロジェクト」として新山口駅を中心とした一帯を活用し、多様な交流促進を目的とする実行委員会に対し事業支援を行った。

本事業の活動主体となる実行委員会は、小郡地域内の大学・専門学校の学生、団体、及び市内企業で構成され、令和3年3月に「えきの笑顔まつり」を開催した。

【実行委員会構成団体数】 14団体

【総会・実行委員会の開催数】 6回

【イベントの開催】 1回



●UJIターン就労支援事業

・大学生等を対象とした企業訪問バスツアーの開催

就職を目前に控えた大学生等を対象に山口県央連携都市圏域内の企業を訪問できるバスツアーを開催した。

【訪問企業】 4社

【参加人数】 8名



●山口情報芸術センター（YCAM）学校連携事業

・YCAM教育コンテンツによる学校教育の充実

児童生徒がテクノロジーに興味・関心を持つきっかけ作りとして、地域資源としてのYCAMを訪問する「YCAM校外学習ツアー」を実施した。

【YCAM校外学習ツアー実施回数】 5回

●雇用対策事業

・職場定着支援セミナーや働き方改革に取り組む企業の紹介・情報発信

職場定着支援セミナーでは、入社後3年以内の若手社員の離職率が高いという課題に対し、地元企業への定着率を上げるとともに、将来の地域を担う若手社員の人材育成を図るため、経営者向け、若手社員向け、入社3年以内の社員向け研修を実施した。

【開催回数】 3回（社員～経営者向け研修）

【参加人数】 59名（33社）

<中小企業の事業承継等による就労の受け皿づくり>

●事業承継・人材確保

・企業に対する事業承継への支援や人材確保セミナーの開催

事業承継支援事業では、山口市事業承継支援協議会として中小企業支援機関の連携により、市内の事業承継を促進し、後継者不足の改善や事業承継支援事業計画策定等支援メニューの活用促進、支援機関向けの研修会や事業者向けのセミナーを開催した。

人材確保採用力アップセミナーでは、市内企業に対して採用方法や離職軽減対策の事例を紹介し、採用力の向上を図った。

【活動実績】 専門家派遣 8件 事業承継に関する対面ヒアリング 80件 など

【セミナー開催回数】 事業承継：3回 人材確保採用力アップ：2回

【セミナー参加人数】 事業承継：72名 人材確保採用力アップ：18名

<企業の魅力や仕事のやりがい、地方での豊かな暮らしを情報発信>

●シティセールス推進事業

・情報誌「彩都山口」の製作

地域の魅力や資源を収集し、市内外（特に市外）に対し、本市や周辺自治体のイメージを効果的に発信することにより、多くの方が山口市や周辺自治体を訪れ、交流による新たな賑わいと消費を創出することを旨とし、山口市のブランド力の向上や定住人口の増加を目指し、情報誌を制作・発行した。

【制作部数】 14,000部

【配布先】

- (1) 市内を中心とした県内の公共施設、観光施設、観光案内所、医療機関（小児科）等
- (2) 県内及び近県の道の駅、おいでませ山口館等
- (3) 市外在住の市出身者（山口七夕会）やふるさとやまぐち寄附金実施者等



●大学生による魅力発見・発信事業

・県央連携都市圏域で暮らす魅力、働く魅力の発信

大学生による魅力発見・発信事業では、山口市を含む県央連携都市圏域で暮らす魅力、働く魅力を、ケーブルテレビ局の市政広報番組を通じて発信した。本事業に参加した学生たちは、ケーブルテレビ局のディレクター、山口市広報広聴課職員とともに、番組内容の企画、制作に取り組んだ。制作した番組は、ケーブルテレビ局で放送したほか、山口市公式YouTubeチャンネルでも配信した。

【実施内容】 テレビ番組の企画、制作、出演

【参加者数】 2名（山口大学2人）

【制作本数】 前編1本と後編1本 合計2本

【放送期間】 前編10月後半11月前半までの毎日
後編11月前半11月後半までの毎日



域外から稼ぐ力を生み出す「新たな産業・交流拠点」づくり推進事業

1 事業の概要

所管課	経済産業部新山口駅拠点施設整備推進室	計画期間	令和2年4月 - 令和5年3月
交付金の種類	地方創生推進交付金	単独事業と 広域事業の別	広域 (山口県、山口市、萩市、長門市)
政策目標	地域の特性に応じた持続可能な都市圏・生活圏の形成	政策目標	山口の魅力に磨きをかけ、新たな「ひと」の流れをつくる
具体的な施策	将来を担う子どもたちを育む「教育・子育てなら山口」	具体的な施策	山口の個性を高め暮らしを楽しむ「文化・観光・スポーツなら山口」
具体的な取組	高次の都市機能の集積や提供	具体的な取組	おいでませ山口・観光地域づくり
政策目標		政策目標	
具体的な施策		具体的な施策	
具体的な取組		具体的な取組	
事業の概要（目的）		事業実施の状況	
<p>令和3年4月の供用開始を目指し、新山口駅北地区に「産業交流拠点施設」を整備する。 また、この施設を核とする交流人口の拡大、ヘルスケア・モビリティサービスなどの新産業の創出や人材育成などの取り組みを一体的に進めることにより、拠点施設のイメージアップ、利用促進などを通じて、地域のブランド力の向上を図るとともに、新産業の創出を通じて、若者・女性に魅力あるサービス分野での雇用の場の創出を図る。</p>		<p>■次世代型スマートホール(=多目的ホール)の運営 ・開館当初からの円滑な施設運営を行うための準備業務を委託 ・機運の醸成を図るため、現場見学会や完成記念式典等を開催 ・多目的ホールの環境整備(備品購入)</p> <p>■AI技術等の活用によるヘルスケア関連産業創出事業(県への負担金) ・「やまぐちヘルスケア関連産業推進協議会」の設置準備及び運営 ・「やまぐちヘルスラボ」の設置準備 ・島津製作所等6者合意に基づく地域コホート研究事業を実施(阿知須地域)</p> <p>■アカデミーハウス次世代人材育成推進事業 ・開館当初からの円滑な施設運営を行うための準備業務を委託 ・アカデミーハウスの環境整備(備品購入)</p> <p>■新たなモビリティサービス調査・実証事業 ・新たなモビリティサービスの需要の検証及び実証実験を実施</p>	
事業の概要(経費内訳)			
<p>・次世代型スマートホール(=多目的ホール)の運営(33,109千円) ・AI技術等の活用によるヘルスケア関連産業創出事業(18,122千円) ・アカデミーハウス次世代人材育成推進事業(9,339千円) ・新たなモビリティサービス調査・実証事業(24,851千円)</p>			

2 本事業における重要業績評価指標（KPI）の達成状況

(1) KPIの達成状況

KPI項目		単位		事業開始前	実績値(増分) (令和2年度)	目標値(増分) (令和2年度)
①	本取組等の効果による事業化件数	件	-	0	0	0
②	施設利用者数(年間) ※次世代型スマートホール、ライフィノベーションラボ、アカデミーハウス等	人	-	0	0	0
③	本取組等による実証事業の実施件数 (ヘルスケア関連産業創出事業)	件	-	0	1	1
④	本取組等による実証事業の実施件数 (新たなモビリティサービス調査・実証事業)	件	-	0	3	3

(2) 評価

本事業の実施状況について			
事業効果	本事業は地方創生に相当程度効果があった。	理由	産業交流拠点施設は、当初の予定どおり、令和3年4月に開館を迎え、施設を起点とした新たなにぎわいの創出や産業の創出の拡大につながっている。 また、新たなモビリティサービスについては、観光時のみならず、日常生活の移動の選択肢が広がり、一定程度の市内回遊が促された。
実績値を踏まえた事業の今後について			
今後の方針	事業が効果的であったことから取組の追加等更に発展させる。	理由	産業交流拠点施設は、産業と交流をキーワードにした様々な機能で構成される施設であり、施設利用者の更なる獲得、長期的な視点での新たな施設需要の拡大等に着実に繋げる取り組みを実施することで、新たな産業・雇用の創出につなげるとともに、交流人口の増大などによる地域経済の更なる活性化を図るため。

【令和2年度取組実績】

域外から稼ぐ力を生み出す「新たな産業・交流拠点」づくり推進事業

【次世代型スマートホール(=多目的ホール)の運営】

●指定管理の始期である令和3年4月1日から、施設の指定管理業務が円滑に遂行できるよう、ホール事業に係る利用申込受付や事業誘致推進をはじめ、各種広報・宣伝業務等の開館に必要な運営準備業務の委託を行った。

●上棟式・建設工事進捗状況報告会や完成記念式典等を開催し、施設の周知と開館への機運の醸成を図った。

- ・令和2年9月26日(土) 上棟式・建設工事進捗状況報告会
- ・令和3年3月29日(月) 完成記念式典開催

●多目的ホールへの最新の音響、映像システムの導入等、様々な用途や先見性のあるコンテンツの提供に対応できるための環境整備を行った。

導入備品: 移動型音響調整卓、移動型パワードスピーカー他



【AI技術等の活用によるヘルスケア関連産業創出事業】(山口県への負担金)

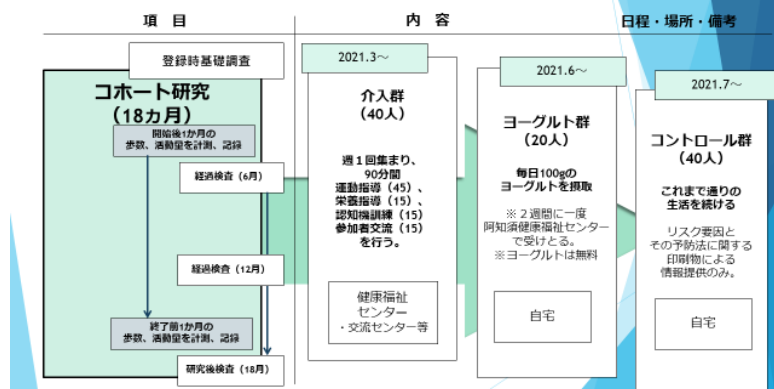
●県内におけるヘルスケア関連産業の創出・育成の推進母体として産学公で構成される、「やまぐちヘルスケア関連産業推進協議会」の設置及び運営を行った。

●企業が行うヘルスケア関連製品・サービスの事業化支援を行う「やまぐちヘルスラボ」の設置準備を行った。

●島津製作所等6者合意に基づく地域コホート研究事業を阿知須地域において実施した。



■地域コホート研究の実施



【アカデミーハウス次世代人材育成推進事業】

●指定管理の始期である令和3年4月1日から、拠点施設の指定管理業務が円滑に遂行できるよう、令和3年度の入居者募集・選定や広報・宣伝活動業務等の運営準備業務の委託を行った。

●アカデミーハウス入居者が、入居者同士及び県内外の企業の経営者や起業者等と交流を図ることができるよう、共有スペースへの備品購入等の環境整備を行った。

導入備品: ソファ、ダイニングテーブル、椅子、テレビ、プロジェクター等



令和2年度新たなモビリティサービス調査・実証事業

① 新モビリティサービス実証事業推進協議会の設置・開催

実証事業の実施母体となる行政、交通事業者、商業・観光事業者等で構成する新モビリティサービス実証事業推進協議会を設置し、協議会の連携の下、実証事業等の計画・方向性を検討

②-1 交通機関の利用調査 / ②-2 運行情報等のデータ収集

- ②-1 ドコモプレミアムを活用したアンケート調査（ニーズ把握や満足度等）の実施
AIピーコンを活用した県外来訪者の行動履歴調査
- ②-2 経路検索に必要な鉄道、バス等の運行情報の収集（アプリに反映）

③ やまぐちMaaS用アプリの開発やビジネスモデルの構築

- スマートフォン向けのやまぐちMaaS用Webアプリ「ぶらやま」を開発
- 移動とクーポン券、割引券などを組み合わせた新たな付加価値を創出するビジネスモデルを構築

④ 新たなモビリティサービスの導入による実証実験

「ぶらやま」を活用した実証実験
タクシーツアーの運行、超小型モビリティの貸出、特典付きデジタルチケット、シェアサイクルとの連携など

⑤ 実証実験の効果検証

実証実験後効果検証を実施

実証①

タクシーツアー「ゆけむり直行便」の運行

法的位置づけ	旅行業法に基づく募集型企画旅行
商品内容	新山口駅⇔湯田温泉間の移動 + ゆけむり手形（温泉、飲食店等での特典）
乗降場所	新山口駅南口⇔湯田温泉観光案内所
運行期間	2020/12/7～2021/2/28 ※2020/12/29～2021/1/4は運休
運行時間帯	16:00発～21:00発 ※両方向とも30分毎に便を設定 ※予約締切は発車の30分前
料金	1800円（片道一人）
企画・実施	おおすみ観光
販売代行	(株)REA ※ぶらやまアプリ上での販売
運行	タクシー事業者6社 ※日ごとに当番制
利用	件数 14件（運行9件）



実証②

超小型モビリティの貸出

事業内容	超小型モビリティ（1～2人乗り）の 無償レンタル （観光利用に限定）
貸出場所・貸出車両等	下図の通り
貸出期間	2020/12/7～2021/2/28 ※一人乗り車両は、2020/12/29～2021/1/3連休
利用件数	合計 128件 ユウベルホテル松政 湯田温泉観光案内所 一の坂川交通交流広場



貸出し箇所・主な観光地

① 利用可能時間



●超小型モビリティは走行エリアが限定されています。●高速道路や地域高規格道路（山口宇部道路）は走行できません。●詳しくは各貸出し場所でご確認ください。

実証③

特典付きデジタルチケットの販売

種別	ゆけむり手形	のる得きっぷ Light Web	地酒の利き酒特別セット
発行元	一般財団法人 山口観光コンベンション協会	防長交通株式会社	湯田温泉観光回遊拠点施設 「狐の足あと」
内容	<ul style="list-style-type: none"> 山口市内の飲食店や温泉、観光施設のお得な特典満載の手形 約100店舗の特典サービスが受けられる 	<ul style="list-style-type: none"> 山口市内の防長交通の路線バスが、1枚で1乗車どこまででも乗れる 「狐の足あと」できっぷを見せれば足湯割引、クリアファイル贈呈（数量限定）の特典付き 	<ul style="list-style-type: none"> 「狐の足あと」でぶらやま限定セレクションの利き酒セット（3種）が飲める 足湯割引、クリアファイル贈呈（数量限定）の特典付き
価格	200円	1000円（3枚綴り）	500円
実際のチケット			
利用件数	12件	28件	29件

徳地地域活性化プロジェクト「高齢者若者活性化センター」整備計画

1 事業の概要

所管課	徳地総合支所地域振興課	計画期間	令和2年4月 - 令和3年3月
交付金の種類	地方創生拠点整備交付金	単独事業と 広域事業の別	市単(山口市)
政策目標	山口の魅力に磨きをかけ、新たな「ひと」の流れをつくる	政策目標	
具体的な施策	協働による「個性と安心の21地域づくり」	具体的な施策	
具体的な取組	中山間・南部地域の活力アップ～農山村の振興～	具体的な取組	
政策目標		政策目標	
具体的な施策		具体的な施策	
具体的な取組		具体的な取組	
事業の概要 (目的)		事業実施の状況	
<p>手狭で狭小な特産品売場を改修し、売場面積を拡大することで、取扱商品を増やし、売り上げ増加を図るとともに、特産品等を通じて交流人口の増大を図る。また、徳地地域の交流の玄関口としての機能強化を図るため、地域情報コーナーを新設する。</p>		<p>○交付金に係る整備内容 ・1階売場のレイアウト見直しに伴う改修 ・地域情報コーナーの新設</p> <p>○経過 改修工事実施に伴い、令和2年12月7日(火)から当該施設を休館し、令和3年3月27日(土)にリニューアルオープンした。休館中は、山口市徳地山村開発センター内で仮設営業を行い、当該施設が持つ機能の維持・継続に務めた。</p> <p>○改修概要 売場面積の増床 20.86㎡(109.03㎡→129.89㎡) 地域情報コーナーの新設</p>	
事業の概要 (経費内訳)			
<p>高齢者若者活性化センター改修事業(27,404千円) 内訳 ・改修工事(11,729千円) ・機械設備工事(9,779千円) ・電気設備工事(5,896千円)</p>			

2 本事業における重要業績評価指標 (KPI) の達成状況

(1) KPIの達成状況

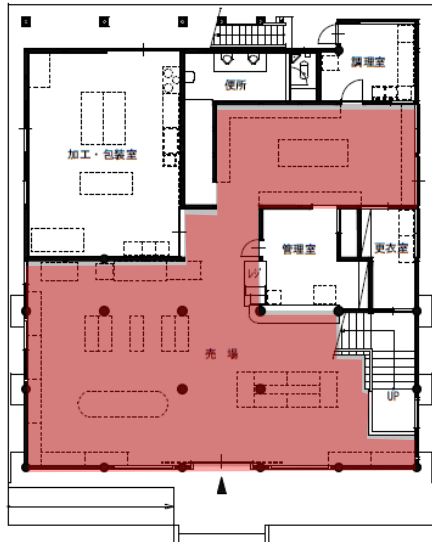
KPI項目		単位	事業開始前	実績値(増分) (令和2年度)	目標値(増分) (令和2年度)
①	高齢者若者活性化センターの特産品売上額	千円	-	71,797	0
②	高齢者若者活性化センターの利用者数	人	-	61,878	0

(2) 評価

本事業の実施状況について		
事業効果	本事業は地方創生に効果があった。	理由 リニューアルオープンが令和2年度末となったため、効果については、1年経過後の令和4年度以降に現れるものと考えている。改修後の来場者アンケートについても好評を得ていることから、効果はあるものと考えている。
実績値を踏まえた事業の今後について		
今後の方針	事業が効果的であったことから取組の追加等更に発展させる。	理由 令和3年3月リニューアルオープン後、10月時点までの実績として、新型コロナウイルス感染症の影響がある中、改修前と同程度の利用者数が見込めている。引き続き、改修による増床部分を有効活用し、消費者ニーズに対応した訴求力の高い徳地産品の販売促進を図る。また、新設の地域情報コーナーについては、徳地地域の旬の情報発信の機能強化を高めることで、利用者や徳地地域を訪れる交流人口の増加を図りたい。

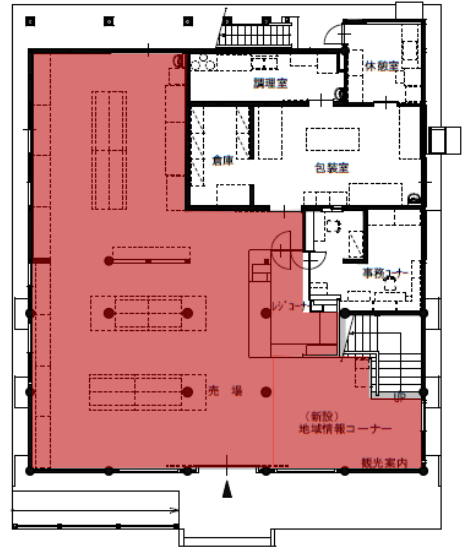
高齢者若者活性化センター（徳地特産品販売所「南大門」）整備状況

改修前：売り場面積 109.03 m²



1階平面図（改修前）

改修後：売り場面積 129.89 m²
(情報コーナー含む)



1階平面図（改修後）

【リニューアルオープン記念セレモニー】



【新しくなったレジコーナー】

